

BI-1-1

一般口演

インプラント周囲炎診断における唾液内歯周病原細菌検査の有用性

○木津康博, 岩崎美和, 牧野盛太郎, 澤田光弘  
医療法人社団木津歯科オーラル&マキシロフェイシャルケアクリニック横浜

The usefulness of periodontal disease-associated bacteria examination in saliva for diagnosis of peri-implantitis

○KIZU Yasuhiro, IWASAKI Miwa, MAKINO Seitaro, SAWADA Mitsuhiro

Medical Co. Kizu Dental Clinic, Oral & Maxillofacial Care Clinic YOKOHAMA

目 的

超高齢社会である本国では、歯科インプラントを口腔内に長期にわたり残存歯と良好な状態で共存させる必要がある。そのためには、インプラント埋入後、さらには補綴後の長期経過観察とメンテナンスが重要となってきた。しかしながら、インプラント周囲粘膜は天然歯とは異なる状態であるため、発赤、腫脹など炎症所見が早期に現れにくく、炎症が重度になって初めて異常を発見することが多い。そこで、インプラント周囲組織を早期に発見することが長期に健康な口腔内を維持する上で重要であり、その診査および評価法として第13回本学会においてインプラント周囲評価シートの活用を報告した<sup>1)</sup>。

一方、インプラント周囲組織評価でBOPが認められる場合や骨吸収が2mm以上の場合には、歯周病原細菌のなかでもRed Complexと言われている慢性歯周病と関係が深いT.f菌、P.g菌、T.d菌の検出率が高くなる。さらには、チタン表面に接着力を有するインプラント周囲に認められるS.aureusの存在も報告されている。細菌が個々では病原性が低く、炎症を惹起しなくとも、これらさまざまな細菌の混合感染によりインプラント周囲炎を発症させることが疑われる。さらに天然歯の歯肉溝から唾液を介してインプラントへの細菌感染を疑う報告もある<sup>2)</sup>。

そこで、インプラント周囲炎と歯周病原細菌との関与を解明するために、第15回本学会にてインプラント周囲評価シートの各クリニカルスコア別におけるインプラント周囲溝の歯周病原細菌を定量し、その相関性を報告した<sup>3)</sup>。しかし、唾液を採取することによりインプラント周囲炎の診断が可能であれば早期発見の一助となると考えた。

今回、インプラント周囲溝と唾液の歯周病原細菌率の相関性およびインプラント周囲炎の進行度と唾液内歯周病原細菌率について検討を行なった。

対象と方法

2008年3月～2014年3月までにオーラル&マキシロフェイシャルケアクリニック横浜に受診されたインプラントが口腔内に存在している89名(男31名, 女58名)から採取された唾液101検体およびインプラント周囲溝滲出液121検体について歯周病原細菌検査を実施した。各検体を使用し、次の各項目について統計解析を行った。

- ①同一患者内のインプラント周囲溝滲出液内と唾液内の歯周病原細菌検出率との関連性について
- ②インプラント周囲炎進行度(インプラント周囲評価シート)とインプラント周囲溝滲出液内の歯周病原細菌検出率との

関連性について

- ③インプラント周囲炎進行度(インプラント周囲評価シート)と唾液内の歯周病原細菌検出率との関連性について

結 果

- ①同一患者内のインプラント周囲溝滲出液と唾液内において歯周病原細菌(P.g菌, T.f菌, T.d菌, A.a菌, P.i菌)の検出率は正の相関が見られた。
- ②インプラント周囲炎(インプラント周囲評価シート)が悪化すると、インプラント周囲溝滲出液内の歯周病原細菌の検出率が有意に高いことが示された。
- ③インプラント周囲炎(インプラント周囲評価シート)が悪化すると、唾液内の歯周病原細菌(P.g菌, T.f菌, T.d菌, P.i菌)の検出率が有意に高いことが示された。

考察および結論

インプラント周囲溝滲出液内と唾液内の歯周病原細菌検出率に相関性が認められたことにより、インプラント周囲溝または天然歯からの唾液を介した歯周病原細菌感染の可能性が示唆された。

また、インプラント周囲炎の診断にはインプラント周囲溝滲出液のみならず唾液内の歯周病原細菌検査は有効であり、インプラント周囲評価シートの活用および唾液内歯周病原細菌検査により、インプラント周囲粘膜炎を早期に診断することが可能となる。歯科医師、歯科衛生士そして検査技師によるチームアプローチがインプラント周囲粘膜炎の早期発見を可能とし、さらにはインプラントを長期に問題ない状態に保つことができる。

参考文献

- 1) 関根秀志, 木津康博, 小野寺良修, 田口達夫: インプラント周囲組織評価のためのメンテナンスプロトコール. 第13回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 2009.12 佐賀.
- 2) Sumida S etc: Transmission of periodontal disease-associated bacteria from teeth to osseointegrated implant regions. Int J Oral Maxillofac Implants, 17: 696-702, 2002.
- 3) 木津康博, 岩崎美和, 小野寺良修, 関根秀志: インプラント周囲炎の診断における歯周病原性細菌検査の有用性. 第15回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 2011.12 千葉.